

椎葉村国民健康保険病院
新公立病院経営強化プラン 点検・評価 報告書

令和7年 12月

宮崎県 椎葉村

はじめに、

椎葉村国民健康保険病院では、国が示す「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」のもと、新たな「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として、令和4年12月に「椎葉村国民健康保険病院 新公立病院経営強化プラン」を策定しました。

この病院経営強化プランは、令和5年度から令和9年度までの期間を対象としおり、各項目における取組の実施状況について、年1回以上の自己点検・評価を行うとともに、各関係機関や住民の代表が参加する当院運営協議会を評価委員会として、年度ごとに、その進捗状況を点検・評価し、客観性の確保を図ります。

なお、その進捗状況は、村の公式HP等を通じて公表するものとし、病院経営に対する住民の理解を広めていく取り組みを行っております。

今回、令和6年度の決算を受けて、新公立病院経営強化プランの点検と評価を行ったことから、その結果について報告いたします。

椎葉村国民健康保険病院 新公立病院経営強化プラン概要

団体名		椎葉村	
プランの名称		椎葉村国民健康保険病院 新公立病院経営強化プラン	
策定日		令和4年12月	
対象期間		令和5年度～令和9年度	
病院の現状	病院名	椎葉村国民健康保険病院	
	所在地	宮崎県東臼杵郡椎葉村大字下福良1747番地5	
	病床数	一般病床30床(うち救急用2床含む) ※すべて急性期	
	診療科目	内科、外科、整形外科を標榜する総合診療	
公立病院として果たすべき役割と今後の方針		<p>民間医療機関の進出が困難なへき地不採算地区において、救急医療を含む地域住民に必要な医療を提供するとともに、政策医療機関として、村が企画する健康づくり事業の支援主体となり地域包括ケアの推進を担い、村内外近隣の医療機関との協力・連携により地域住民の医療と健康保持増進に貢献する。</p> <p>また、村内唯一の病院として2次救急医療を提供できる体制を維持する。</p> <p>さらに当院は、「へき地医療拠点病院」として県より指定を受けており、へき地における医療を効率的・効果的に提供するために、医療人材の育成・充実を図るとともに、巡回診療の提供を行なう等、広域的で重要な役割を担う。</p>	
点検・評価	点検・評価・公表の体制	点検	院内で実施
		評価	椎葉村国民健康保険病院運営協議会で実施
		公表	椎葉村ホームページで公表
数値状況、点検結果、評価の内容等	別紙の通り		

新公立病院経営強化プラン 点検・評価

◎	達成
○	概ね達成
△	現状維持
×	未達成

1. 患者数について

項目	目標	現状	評価	評価内容
①入院患者数(1日平均)	15人以上	11.1人	×	令和5年度と比較すると人口減少に伴い患者数は減少傾向にある。本村の人口構成は、少子高齢化が進行しており、生産年齢人口が減少し、65歳以上の高齢化率が上昇していることから、今後、最も多い70歳代の受診が増加することで患者数は下げ止まると推測する。しかしながら、目標までは達していないため生活習慣病の予防等に力を入れることで定期的な受診を促し目標達成に向け努力する。
②年間病床利用率	50%以上	36.9%	×	
③外来患者数(1日平均)	80人以上	68.1人	×	

2. 病床数について

項目	目標	現状	評価	評価内容
①急性期病床の維持数	30床	30床	◎	急性期病院としての許可が継続され、回復期及び慢性期の幅広い患者も受入ができています。また、一般病床30床のうち2床は救急用として確保が必要なことや、新型コロナウイルス感染症の発生時における一定の病床確保のや性別を配慮する面から、今後も維持したい。

3. 医療従事者の確保について

項目	目標	現状	評価	評価内容
①医師体制	3人体制を堅持	3人	◎	医療従事者の人材不足や都市部への偏在が進む中、定着医1人、宮崎県からの派遣医師2人の医師3人体制を維持することができた。また、看護師については、退職者の会計年度任用職員や有償ボランティアでの補充により継続が保たれている。しかし、高齢化が懸念されるため看護師や薬剤師についても、現在、公募中である。その他、研修医については1名、実習生は9名を受け入れた。
②看護師補充数	1人以上を補充	会計年度任用職員等での対応	△	
③薬剤師・技師の採用数	1人以上を採用	公募中	×	
④研修医・学生の実習受入	積極的に実施	実施中	◎	
⑤専門研修プログラム提供	関係機関と連携して提供	宮崎大学や県立宮崎病院と連携	○	

4. 医療機能や医療の質の向上について

項目	目標	現状	評価	評価内容
①院内研修会の開催数	年4回以上	4回	○	医療機能や医療の質の向上を目的として、各部門の職員を対象とした感染や技術や専門的知識の取得のために、医療安全、医療ガス等の研修の他、災害に対する訓練を実施した。また、公的機関や医師会などの関係機関が開催する学会などにも出席し、県立延岡病院と連携し派遣医師の研修を実施した。
②職員派遣の実施数	年10回以上	10回	◎	

5. 地域包括ケアシステムについて

項目	目標	現状	評価	評価内容
①定期的な地域ケア会議の開催	定期的に実施	実施中	◎	当院のほか行政(福祉保健課地域包括支援センター)、村社会福祉協議会、特養施設「平寿園」の4組織と月に一度の地域ケア会議に出席したほか関係機関との情報共有化、連携した対応ができています。さらに、他医療機関との入退院調整などの連携により、患者の希望に沿った対応をしている。
②医療と福祉の連携	各取組を実施	実施中	◎	

6. 収益確保につながる取組について

項目	目標	現状	評価	評価内容
①施設基準の取得数	新たな施設基準を取得	現状維持	△	入院や外来収益の大幅な増収は見込めないことから、診療報酬の加算につながる新たな施設基準の取得や算定率の向上を診療報酬の改定等に併せ実施している。また、一般会計負担金については、総務省通知の繰出基準に基づくものとするほか、へき地医療拠点病院として不採算業務の医療を担っていく上で真に必要な経費については、財政担当課等との十分な協議と調整した。
②健診・予防接種の受入数	年間10事業所100人以上(健診)	17事業所516人	◎	
③健診・予防接種の受入数	年間1,000件以上(予防接種)	1,500件	◎	
④一般会計負担金の調整	必要経費について財政担当課等と協議のうえ決定	協議済み	○	